

令和3年7月17日(土)
新小岩北地区センターホール

第2回 西新小岩五丁目地区防災まちづくり検討会

次 第

1 開 会

2 防災まちづくりの検討

- ① 第1回防災街づくり検討会の振り返り
- ② 地域全体による防災まちづくりの取り組み
- ③ まちづくり構想の取りまとめ

3 閉 会

西新小岩五丁目地区

第2回 防災街づくり検討会

7月17日（土）14時～

西新小岩五丁目町会

葛飾区 都市整備部 街づくり推進担当課

本日の内容

I. 開会あいさつ

II. 本日の検討会について

III. 議題

1-1 第1回防災街づくり検討会の振り返り

2 意見募集シートの結果

2-1 地域全体による防災まちづくりの取り組み

2 意見交換①

3-1 まちづくり構想（案）

2 意見交換②

IV. 今後の予定

Ⅱ. 本日の検討会について

防災街づくり検討会の進め方

令和3年6月
14日～28日

第1回防災街づくり検討会
(書面開催)

- ◎ 防災街づくり検討会の目的
- ◎ まちの現状・課題の整理
- ◎ 事例紹介
- ◎ まちづくり構想(素案)
道路拡幅の検討

令和3年7月17日

第2回防災街づくり検討会

- ◎ 前回の振り返り
- ◎ 防災まちづくりの検討
(不燃建替えなど)
- ◎ まちづくり構想(案)の検討

『西新小岩五丁目地区防災まちづくり構想』の完成

令和3年8月上旬

まちづくりニュース発行

検討会の開催報告、まちづくり構想を
西新小岩五丁目全体にお知らせ

『西新小岩五丁目地区まちづくり構想』を区に提出

- ①第1回検討会で出された意見の共有
- ②地域全体による防災まちづくりの
取り組みの検討
- ③まちづくり構想のとりまとめ

Ⅲ. 議題

1-1 第1回防災街づくり検討会の振り返り

第1回検討会（書面開催）

1. 議題

- ①防災街づくり検討会について
- ②まちの現状と課題について
- ③区内の取り組み事例の紹介
- ④まちづくり構想（素案）の検討について

2. 意見の募集について

- ⑤「道路の拡幅」について
- ⑥「まちの良い点と改善点」について

3. 次回の防災街づくり検討会について

- ⑦次回の防災街づくり検討会について

まちの将来像 → 災害に強く 安心・快適に 住み続けられるまち

まちづくりの目標

災害に強いまちと
骨格のみちをつくる

安心・快適に暮らせる
まちをつくる

コミュニティとふれあ
いを育むまちをつくる

目標実現に向けたまちづくりの取組み

○防災性の高いまちづくり

- 建物の不燃化や建替え、共同化を進めて災害に強いまちなみを形成します。
- 狭隘な道路や行き止まり道路などを解消してまちの防災性を向上します。
- 防災拠点の整備と拠点間を結ぶ道路ネットワークを整備します。

○緊急車両が円滑に通行できる骨格のみちづくり

- 消防活動困難区域を解消するなど、地区の骨格となる道路幅員 6 m 以上の防災生活道路を整備します。
- 「堤防道路」の相互通行化を検討します。

○安心・快適に歩けるみちづくり

- 安全で快適な歩行者ネットワークを形成して回遊性を高めます。
- 震災時の倒壊や死角等による防犯上の懸念を解消するため、高い塀からフェンスや生垣へ改修するなど、建替え時のルールを定めます。

○まちなみや環境の保全

- 地区にふさわしい良好な街並みへ誘導するルールを定めます。

○コミュニティ活動の活性化

- コミュニティ活動を活性化・充実させる場づくりを行います。
- 積極的にお祭りやイベント等を行い、ふれあいの機会を増やします。

○緑の拡充によるうるおいのあるまちづくり

- 公共空間や住宅の緑を増やして、うるおいのあるまちづくりを行います。

■主な取り組み

【地区全体の取り組み】

- 建物の不燃化などの建替えのルール作り
- 細街路の拡幅
- 災害時に活用できる公園や広場の確保



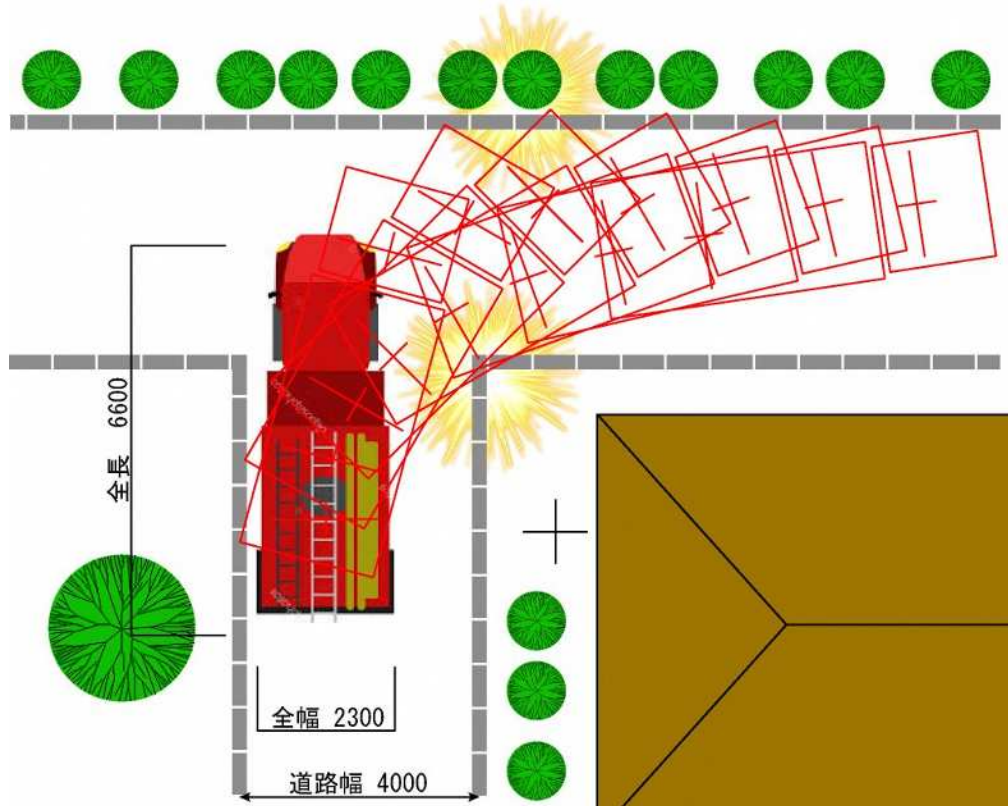
まちづくり構想（素案）の検討について

道路を拡幅した場合の効果①

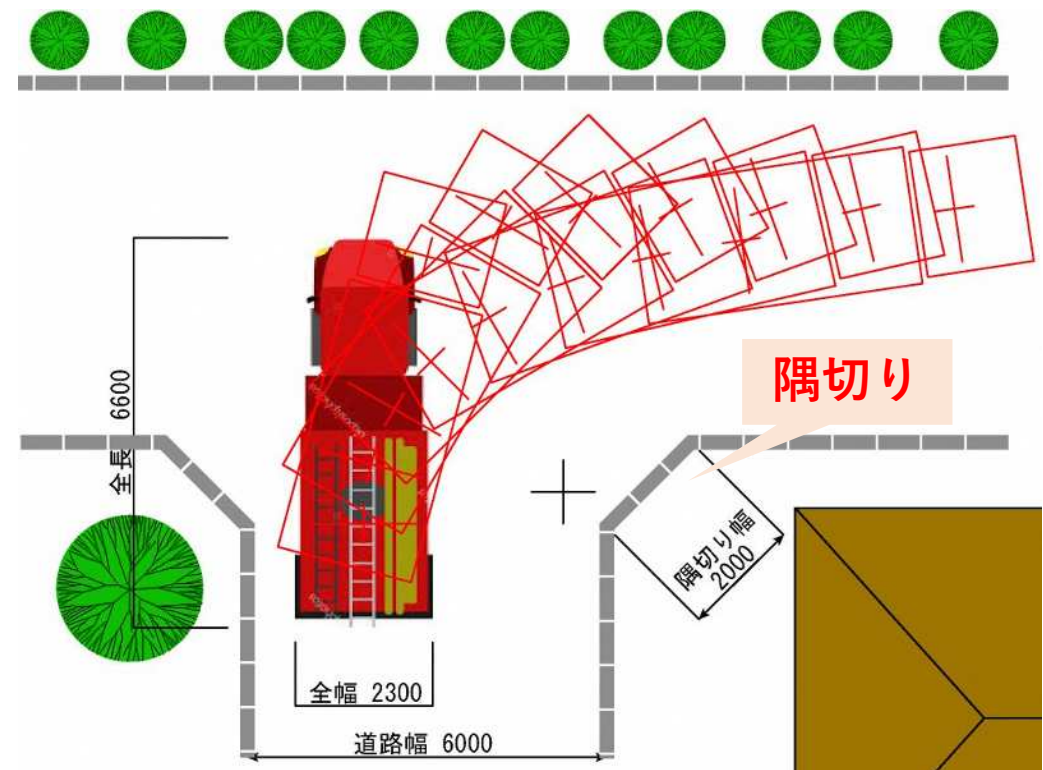
- 細街路を6mに拡幅し、隅切りを設置することで、緊急車両がスムーズに曲がれるようになります。

■（参考）緊急車両の通行軌跡図

【隅切りなし幅員4m道路】



【隅切りあり幅員6m道路】

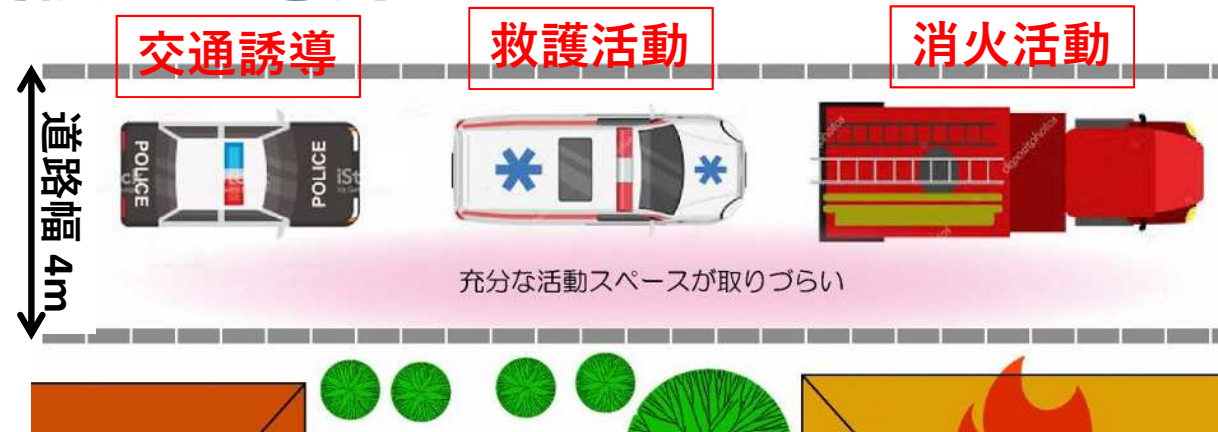


まちづくり構想（素案）の検討について

道路を拡幅した場合の効果②

- 細街路を6mに拡幅することで、緊急車両の活動スペースが確保できます。
- 例えば、救急車による救護スペース（ストレッチャーの切回しなど）が確保できます。
- また、消防車による消火活動スペース（ホースの設置・取り回しなど）が確保できます。

【幅員4m道路】



【幅員6m道路】



優先整備路線の現状整理

自転車及び歩行者専用

道路の幅員が狭い(4m程度)



見通しが悪い



幅員が狭まる(5.5m→4m程度)



防災活動拠点



道路の幅員5m以上6m未満



凡例

- : 西新小岩五丁目地区
- : 防災生活道路(幅員6m以上)の整備(優先整備路線)
- : 自転車及び歩行者専用の道路
- : 一方通行の道路



Ⅲ. 議題

1-2 意見募集シートの結果

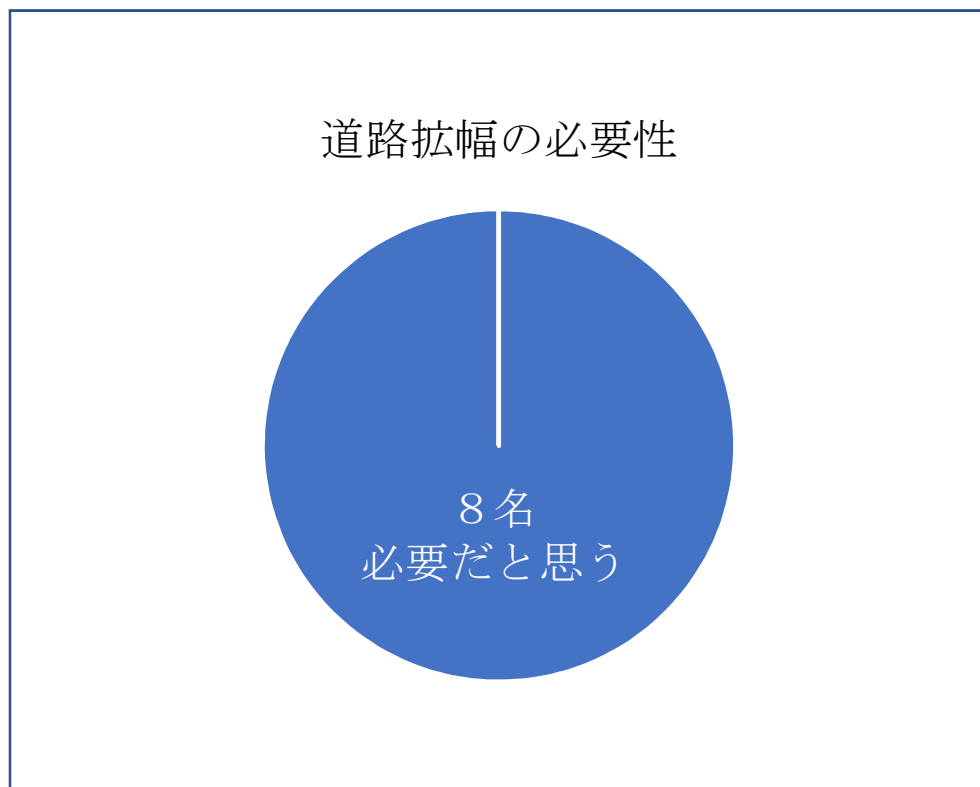
- (1) 意見募集の結果
- (2) 結果のまとめ

1-2 意見募集シートの結果

(1) 意見募集の結果

Q1 : 「道路の拡幅」について

(1) 西新小岩五丁目地区において、防災上などの観点から道路の拡幅は必要であると思いますか？



回答

- 必要だと思う (8名)
- どちらかという必要だと思う (0名)
- どちらともいえない (0名)
- どちらかという必要だと思わない (0名)
- 必要だと思わない (0名)
- 無回答 (1名)

1-2 意見募集シートの結果

(1) 意見募集の結果

Q1 : 「道路の拡幅」について

(2) Q1 (1) の回答の理由をご記入ください。

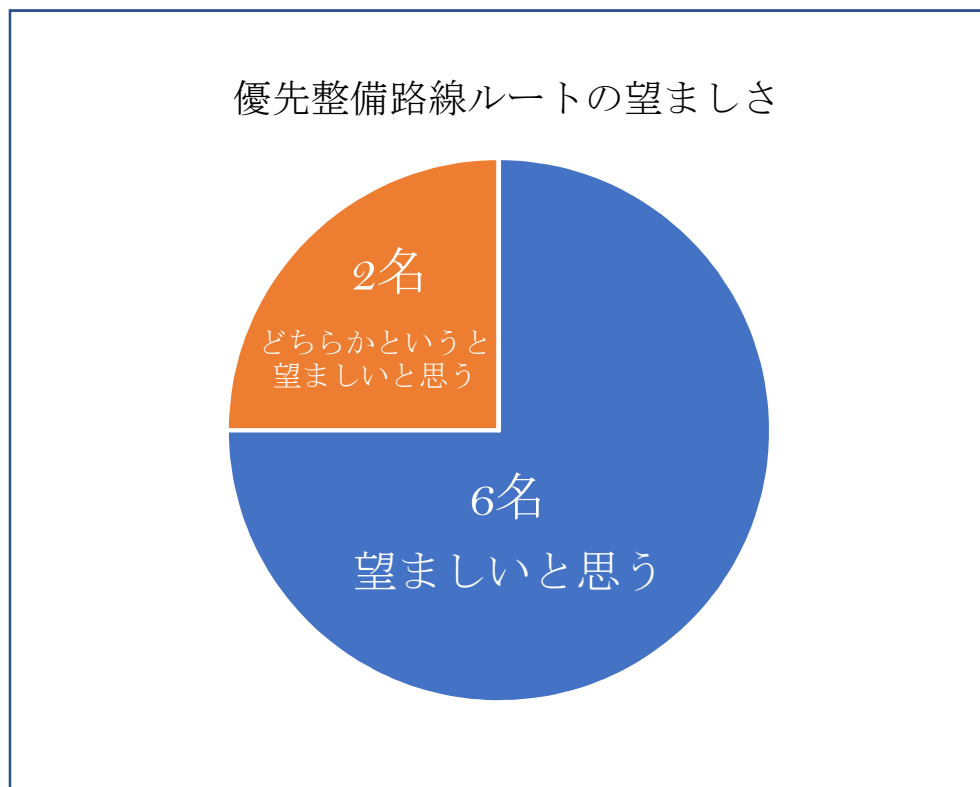
- 災害時の緊急車両の通行を容易にするため道路拡幅は必要である。
- トレーラー等の大型車通行は禁止としたい。
- 火災発生時、消防活動は最優先で行うべきであるため。
- 地域内に古い戸建てが多いことや建売住宅が密集しているため、火災が特に心配である。
- 防火とともに犯罪面でも拡幅が必要である。夜間は暗い道が多い。

1-2 意見募集シートの結果

(1) 意見募集の結果

Q1 : 「道路の拡幅」について

(3) 優先して拡幅するルートとして、西新小岩五丁目地区防災まちづくり構想（素案）（資料2）の優先整備路線のルート（赤い点線ルート）は望ましいと思いますか？



回答

- 望ましいと思う（6名）
- どちらかという望ましいと思う（2名）
- どちらともいえない（0名）
- どちらかという望ましいと思わない（0名）
- 望ましいと思わない（0名）
- 道路拡幅は必要だと思わない（0名）
- 無回答（1名）

➤ 優先整備路線ルートは概ね望ましいというご意見でした。

1-2 意見募集シートの結果

(1) 意見募集の結果

Q1 : 「道路の拡幅」について

(4) Q1 (3) の回答の理由をご記入ください。

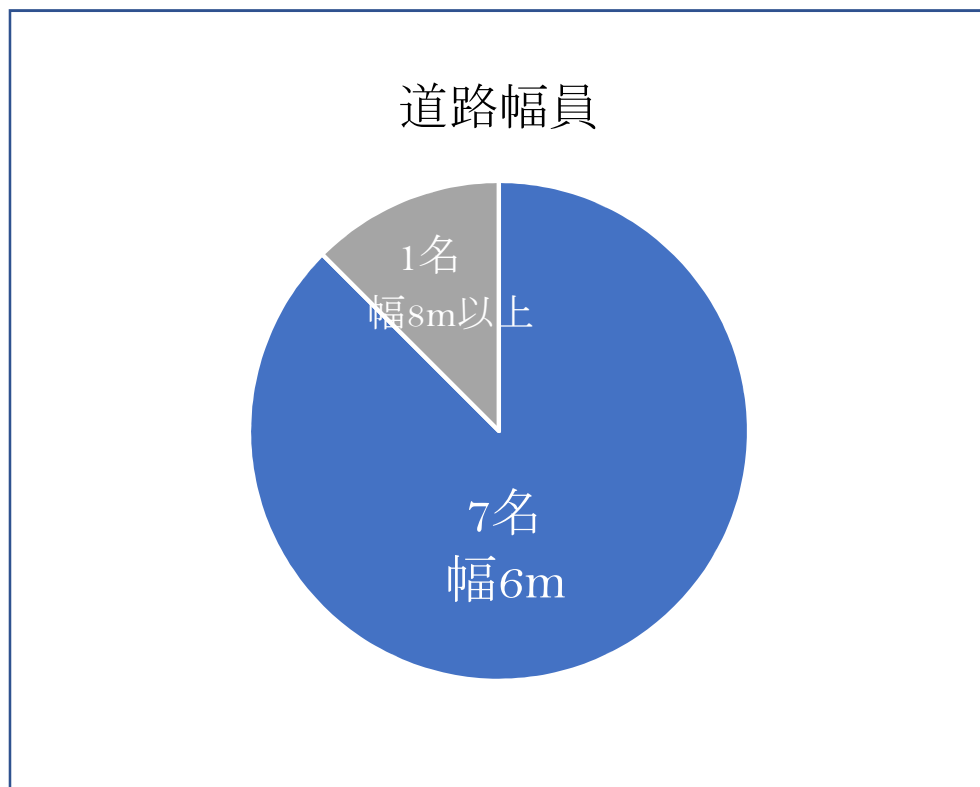
- 町内の幹線道路（上平井橋通り、平和橋通り）に繋がるルートであるため望ましい。
- 町内の中央にあたる道路で、地区全体の消防範囲を網羅できると思う。
- 優先整備路線では、途中から一方通行でとても狭くなり、対面でも車同士がすれ違うことができないため。
- まずは優先整備路線から行ってほしい。ただし、整備しやすい道路がある場合はそちらを優先し、できるところから取りかかり、最終的には優先整備路線ルートにつなげてほしい。
- 生活道路であるため大型車の通行は禁止としたい。
- 東光寺を挟んだ上側だけでなく、下側の道路も拡幅したほうがなお良い。
- 計画段階ならば、他の道路計画も必要ではないか。

1-2 意見募集シートの結果

(1) 意見募集の結果

Q1 : 「道路の拡幅」について

(5) 拡幅する場合、道路の幅はどの程度必要だと思いますか？



回答

- 6mの幅が必要だと思う (7名)
- 8mの幅が必要だと思う (0名)
- 8mよりも広い幅が必要だと思う (1名)
- 道路拡幅は必要だと思わない (0名)
- 無回答 (1名)

➤ 道路の幅は概ね6mは必要であるというご意見でした。

1-2 意見募集シートの結果

(1) 意見募集の結果

Q2 : 「まちの良い点・改善点」について

(1) まちの良いところや残したいところなどを以下の にご記入ください。

施設

散歩や運動でよく利用する

モンチッチ公園は広く、綺麗

整備

堤防道路沿いのジョギングロードの整備・維持が良い

花・木の整備を継続してほしい

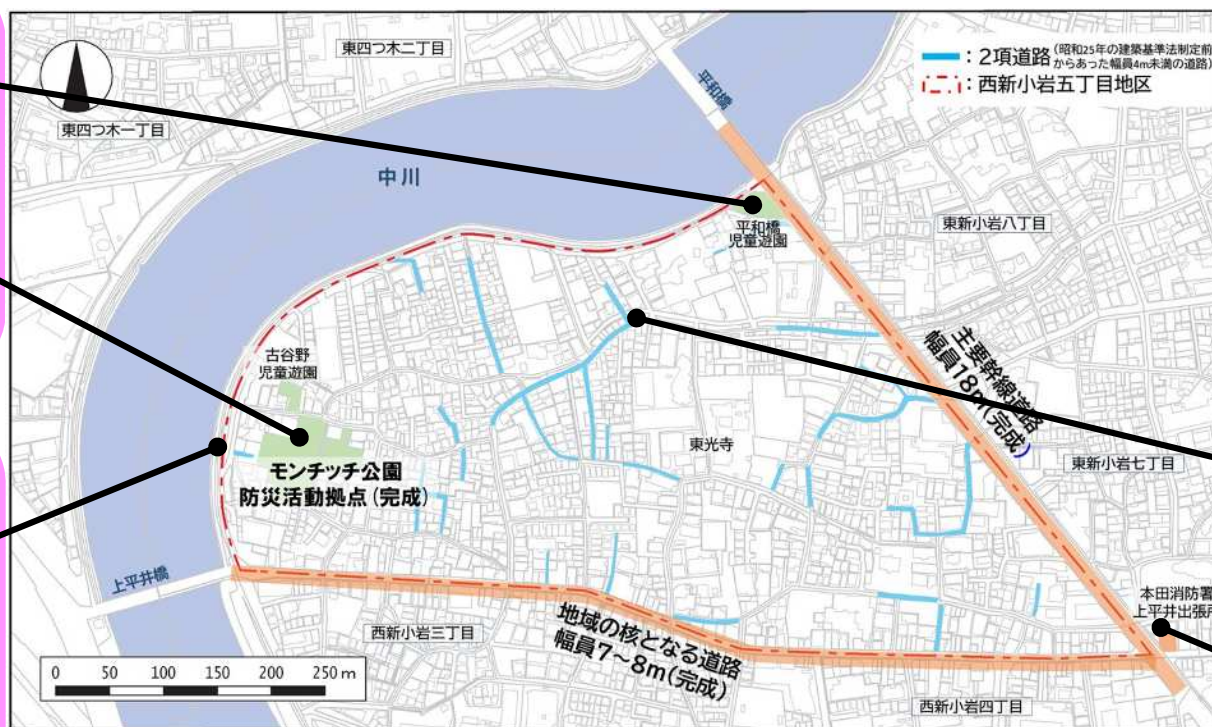
環境

夜は静か

安全

自転車及び歩行者専用道路が安全のため必要

交番があって安心



1-2 意見募集シートの結果

(1) 意見募集の結果

Q2 : 「まちの良い点・改善点」について

(2) まちの課題や改善したいところなどを以下の にご記入ください。

環境

買い物をするお店がない
(コンビニだけ)

通学路

小学校まで遠いのに通学路に歩道がない所が多い

上平井小学校の通学路のため、押しボタン式の信号にしてほしい。



危険箇所

見通しが悪くて危険

道が狭く、両側にブロック塀が有り危険。

車の出入りの際、自転車及び歩行者の危険を感じる

平和橋通りに入る所は見通しが悪く危険

1-2 意見募集シートの結果

(1) 意見募集の結果

Q2 : 「まちの良い点・改善点」について

(2) まちの課題や改善したいところなどを以下の にご記入ください。

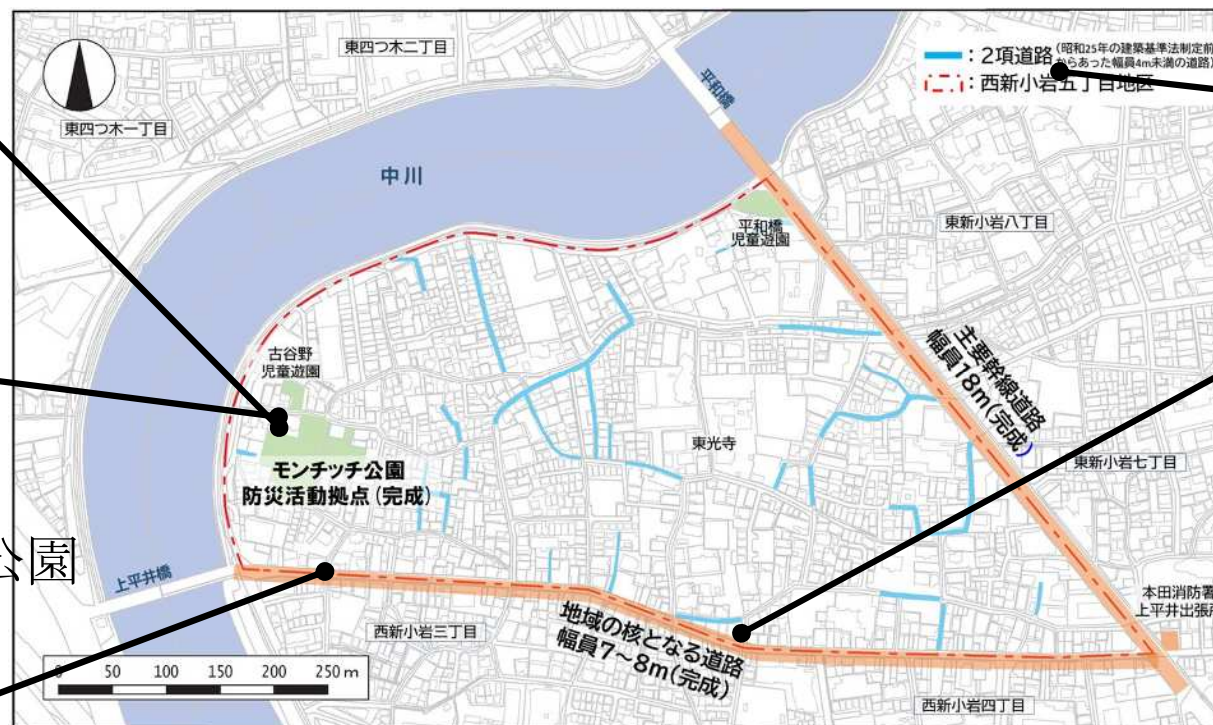
古谷野児童遊園

モンチッチ公園
が今後拡張されるので不要

防災備品・
災害備品のための
管理棟が必要

モンチッチ公園

モンチッチ公園の
案内板がほしい。
モンチッチのイラスト
を多用してほしい



道路拡幅

2項道路の
拡幅をしたい

8m道路であるが
狭所を拡幅して
欲しい

1-2 意見募集シートの結果

(1) 意見募集の結果

Q2 : 「まちの良い点・改善点」について

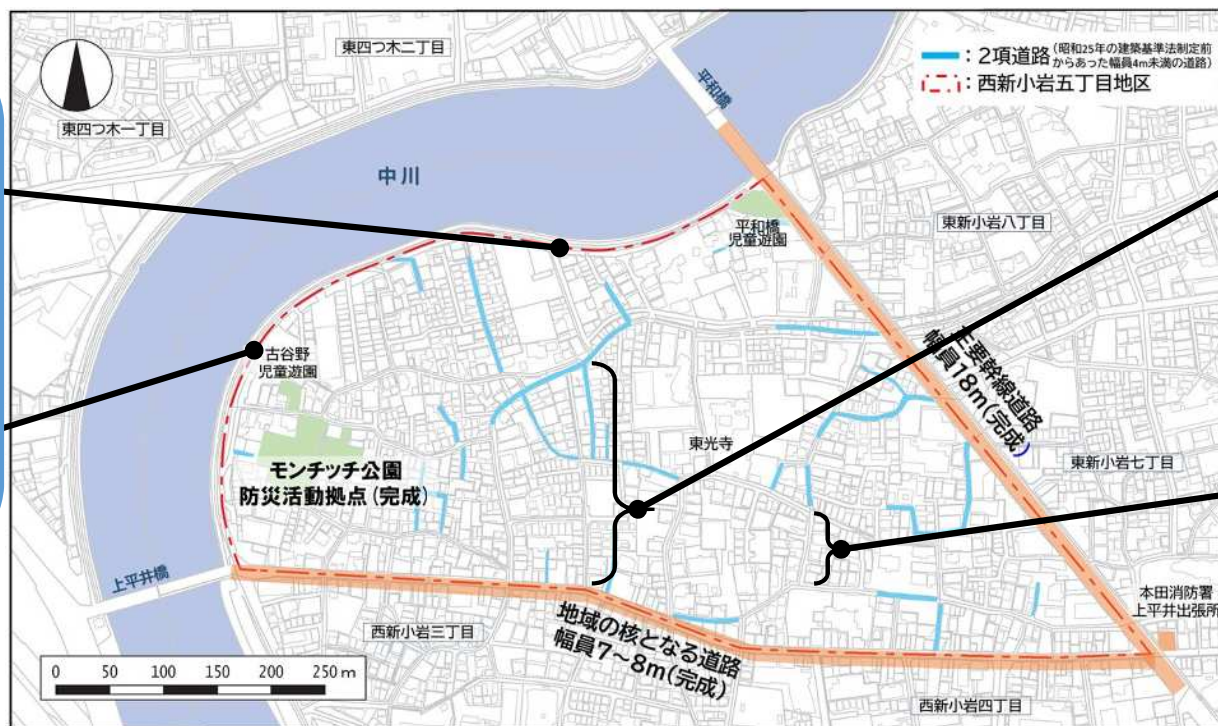
(2) まちの課題や改善したいところなどを以下の にご記入ください。

交通規制

堤防（浸水）

土手に上がる道路
工事が完成未定
となっている

堤防道路の
相互通行の実現を
希望する



道幅が狭いので
対面通行をやめ
一方通行としたい

広い道で一方通行
となっているが、
対面通行としたい

1-2 意見募集シートの結果

(1) 意見募集の結果

Q3 : その他

(1) その他、まち全体に関するご意見・ご感想があれば、ご記入ください。

- 区画整理が未整備のため、最低必要な緊急車両が通行できる道路を第一に進めたい。一方通路、対面道路の整理をしたい。
- 2項道路の改善は、かなり力を入れないと進まないと思う。2項道路も細街路なしとするため、ぜひ進めるべき。
- バス通りがとても狭い上に、シニアの唯一の交通手段のバスの本数が少ない。小さいコミュニティバスが通ると良いと思う。
- 買い物をするお店が、コンビニしかない。
- 全体的に入り組んでいる街。中川に囲まれているのが特徴だと思うため、水路を作って消火用水を確保する等、安全対策に活かさないか検討してほしい。
- 安全対策以外でも中川を使ったイベント（花火）などを催して街全体を活性化してほしい。
- 検討するのにしばらく猶予がほしい。

1-2 意見募集シートの結果

(1) 意見募集の結果

Q3 : その他

(2) その他、ご意見・ご感想、ご質問があれば、ご記入ください。
(事業の進め方、資料へのコメント 等)

- 出来るところから遅滞なく事業を進めて欲しい。
- 道路の拡幅において歩行者、特に子供及び高齢者に安全の確保ができるようにしたい。
- 災害（地震や豪雨）が身近に感じている人も多いはずである。その方面からの防災上のアプローチも必要である。
- 改めて、自分の住んでいる地区について考えさせられました。資料を読み直して、意識して地区や町を見てみたいと思う。
- 事業の進め方はこのような流れで良いと思う。
- オンライン回答もできるようにしてほしい。

1-2 意見募集シートの結果

(2) 結果のまとめ

■道路拡幅について

- 緊急車両の通行や消防活動をしやすくするため、優先整備路線を6 m以上に拡幅する必要がある。
- 二項道路の拡幅も力を入れて進めてほしい。
- 交通規制（大型車、一方通行、対面通行）の検討が必要である。
- 高齢者や子供（通学路含む）の安全確保の対策を講じる必要がある。
- 滞りなく、できるところから取りかかってほしい。

■まち全体について

- 利用者が親しみやすい公園やジョギングロード等の整備が引き続き必要である。
- 町内に複数箇所、見通しが悪い危険箇所が存在する。
- 防災備品・災害備品のための備蓄倉庫の防災公園が必要である。
- 古い建物が多く、また密集しているところを解消してほしい。
- バスの本数を増やしたり買い物するお店があったり、イベントを催したりして街全体を活性化したい。

Ⅲ. 議題

2-1 防災まちづくりの取り組み

- (1) 防災まちづくりに関する区内での取り組み事例
- (2) 建替えルール（防災街区整備地区計画）

2-1 防災まちづくりの取り組み

(1) 防災まちづくりに関する区内での取り組み事例

① 目標とする指標やその具体的な取り組み

➤ 地域全体で防災のまちづくりを目指すため、不燃領域率※①を70%まであげることが一つの目安になります。そのためには、

①：道路を拡幅すること

②：公園などのオープンスペースを確保すること

③：建物構造を防火構造にすること

表 各地区の不燃領域率 (%)

調査項目	西新小岩五丁目地区 令和元年度調査	四つ木一・二丁目地区 平成28年度調査	東四つ木三・四丁目地区 平成28年度調査
不燃領域率	45.9%	57.0%	49.6%
老朽木造建物棟数率	43.3%	42.2%	40.3%
道路率	15.3%	17.3%	16.5%
細街路率	41.5%	32.6%	27.5%

その手法として、

①密集事業

②防災街区整備地区計画
があります。

※①：不燃領域率とは、エリアに占める公共空地と耐火建築物敷地面積の割合で、まちの燃えにくさを示す指標。70%を超えると市街地の延焼の危険性がほぼなくなるとされています。

2-1 防災まちづくりの取り組み

(1) 防災まちづくりに関する区内での取り組み事例

防災まちづくりの実現手法

**道路拡幅
(密集事業)**



**建替えルール
(防災街区整備地区計画)**

まちの防災性の向上
にとって、欠かせない、
急ぐべき整備がある



期限を定めて重点的に整備する



まち全体にとっての整備の
費用対効果を定量化して、
密集事業の導入を目指す



短・中期的な防災まちづくり

まち全体をすぐに
整備することはできない



建替えが進むに連れて、徐々に
災害に強いまちになっていく
環境づくりが重要



建替えに関する法的なルール
(地区計画)を導入し、
将来の子ども達に安全なまちを残す



長期的な防災まちづくり

2-1 防災まちづくりの取り組み

(2) 建替えルール（防災街区整備地区計画）

①防災街区整備地区計画の概要

- 地区計画とは、その地区の将来に向けてのまちづくりの目標や方針を定め、道路や公園、広場などの配置や規模を決めたり、建物の建て方等のルールを作る制度です。
- 防災街区整備地区計画は、「地区計画」の種類の一つで、特に、防災性の強化を図ることを目的とした地区計画制度です。



木造住宅を耐火・準耐火構造への建替えを促進

(大阪府寝屋川市)

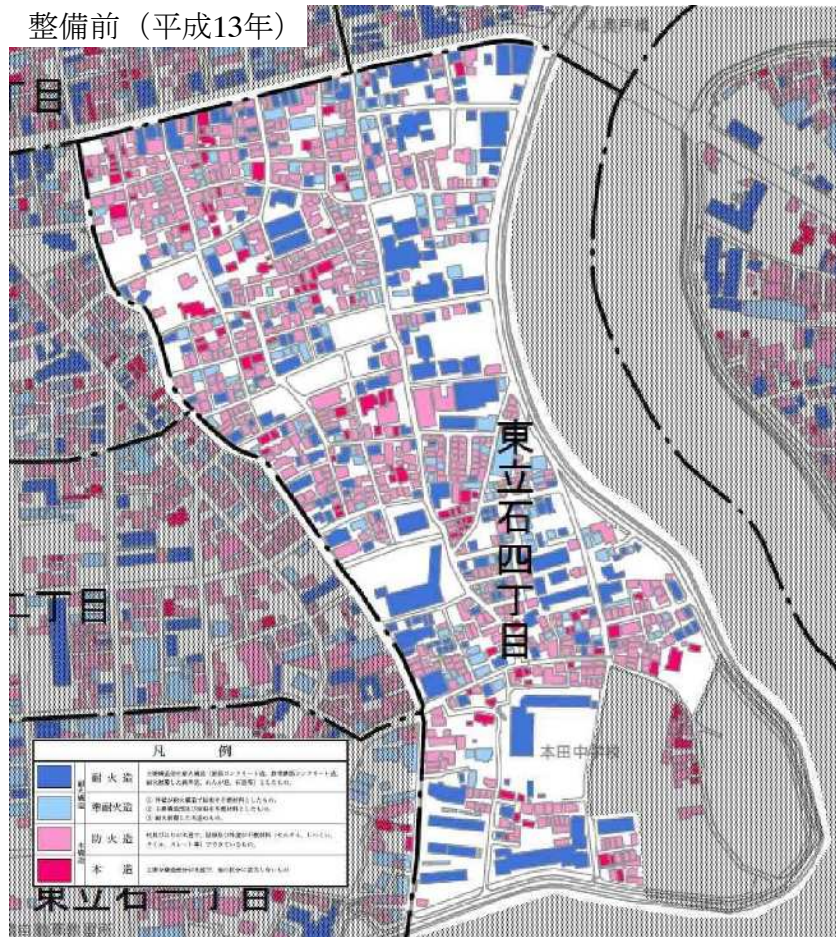
2-1 防災まちづくりの取り組み

(2) 建替えルール（防災街区整備地区計画）

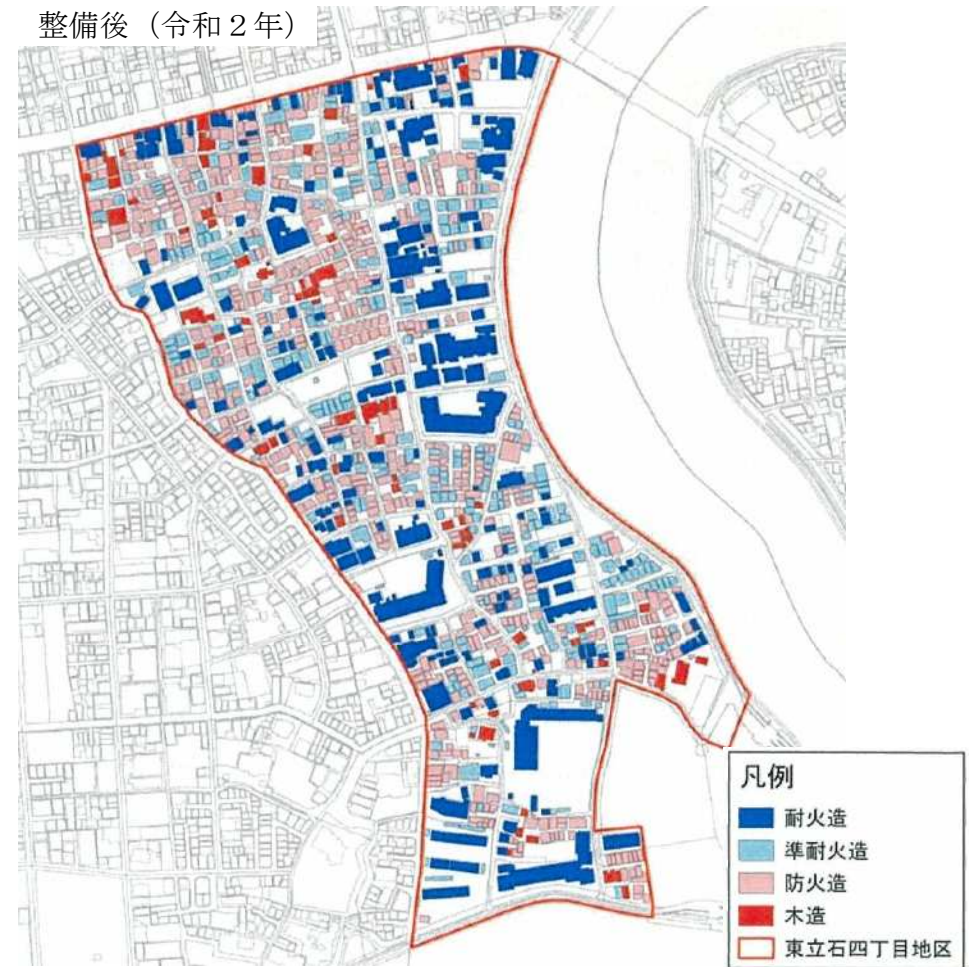
①防災街区整備地区計画の概要

【東立石四丁目地区の事例】

整備前（平成13年）



整備後（令和2年）



2-1 防災まちづくりの取り組み

(2) 建替えルール（防災街区整備地区計画）

② 「建築物等の制限」について

- 建替えルールには、一般的に15種類の具体的なルールがあります。
- 本日の検討会では、【建築物の構造に関する防火上必要な制限】と【敷地面積の最低限度】に着目して説明します。

〈地区全体のルール〉

① 建築物の構造に関する防火上必要な制限

② 間口率の最低限度

③ 壁面の位置の制限

④ 工作物の設置の制限

⑤ 敷地面積の最低限度

⑥ 建築物等の用途の制限

⑦ 容積率の最高限度

⑧ 容積率の最低限度

⑨ 建ぺい率の最高限度

⑩ 建築面積の最低限度

⑪ 高さの最高限度

⑫ 高さの最低限度

⑬ 垣または柵の構造の制限

⑭ 建築物の形態または色彩その他の意匠の制限

⑮ 緑化率の最低限度

2-1 防災まちづくりの取り組み

(2) 建替えルール（防災街区整備地区計画）

② 「建築物等の制限」について

① 建築物の構造に関する防火上必要な制限

- 令和元年度消防白書によると、平成30年の全国の火元建物の構造別にみると、**木造建物が最も多く**、8,196件となっています。
- 火元建物以外の別棟に**延焼した火災件数の割合は**、木造が最も高くなっています。
- 火災1件当たりの焼損床面積は、**木造が全建物火災の平均の約1.5倍**となっています。

	平成30年				
	出火件数 (件)	延焼率 (%)	延焼件数 (件)	1件当たり 焼損床 面積(m ²)	1件当たり 損害額 (千円)
木造	8,196	32.4	2,652	74.2	3,751
耐火造	5,695	3	171	7.5	1,816
防火造	1,885	14.8	279	27	2,401
準耐火木造	287	12.5	36	49	3,661
準耐火非木造	2,364	11.2	265	81.5	8,792
その他・不明	2,337	33.8	790	65	3,786
建物全体	20,764	20.2	4,193	51.1	3,674

2-1 防災まちづくりの取り組み

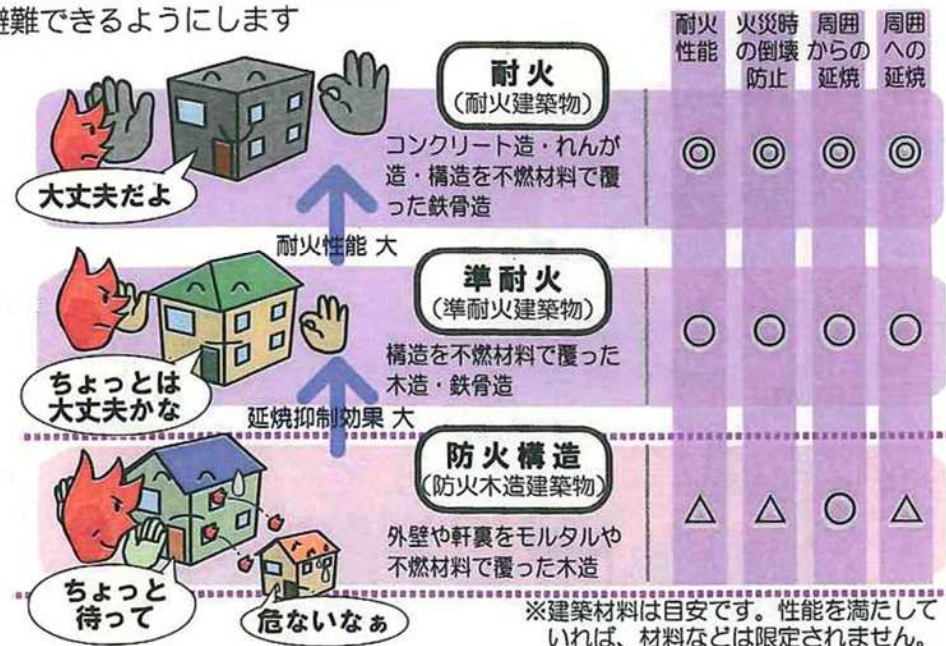
(2) 建替えルール (防災街区整備地区計画)

② 「建築物等の制限」について

① 建築物の構造に関する防火上必要な制限

- **木造建築物**は、裸木造だと20分前後で完全に燃えつきまます。出火から最盛期まで約7分間です。
- **耐火建築物**は木造家屋に比べると、空気の流通が少ないので、だらだらと燃え、煙がたくさんで出るのが特徴です。
- **耐火、準耐火建築物**は延焼する速度を遅くし、避難時間が確保できます。
- また、**火災が小さい段階**で消防が到着

建物の**不燃化**を進めることで、安全な市街地を形成するとともに、広域避難場所や避難路への熱の影響を少なくして、安全に避難できるようにします



2-1 防災まちづくりの取り組み

(2) 建替えルール（防災街区整備地区計画）

② 「建築物等の制限」について

① 建築物の構造に関する防火上必要な制限

耐火建築物：

壁、柱などの主要構造部を、鉄筋コンクリート造、レンガ造などの耐火構造とした建築物で、外壁の開口部に防火戸その他の防火設備を設けた建築物のことをいいます。

- 火災が終了するまでの間、建築物の**倒壊**及び**延焼を防止**するために必要とする性能を持ちます。

(建築基準法第2条第7号)



(株式会社アイコホーム)

2-1 防災まちづくりの取り組み

(2) 建替えルール (防災街区整備地区計画)

② 「建築物等の制限」 について

① 建築物の構造に関する防火上必要な制限

準耐火建築物：

壁、柱などの主要構造部を、耐火構造に準ずる耐火性能である準耐火構造とし、外壁の開口部に防火戸その他の防火設備を設けた建築物のことをいいます。

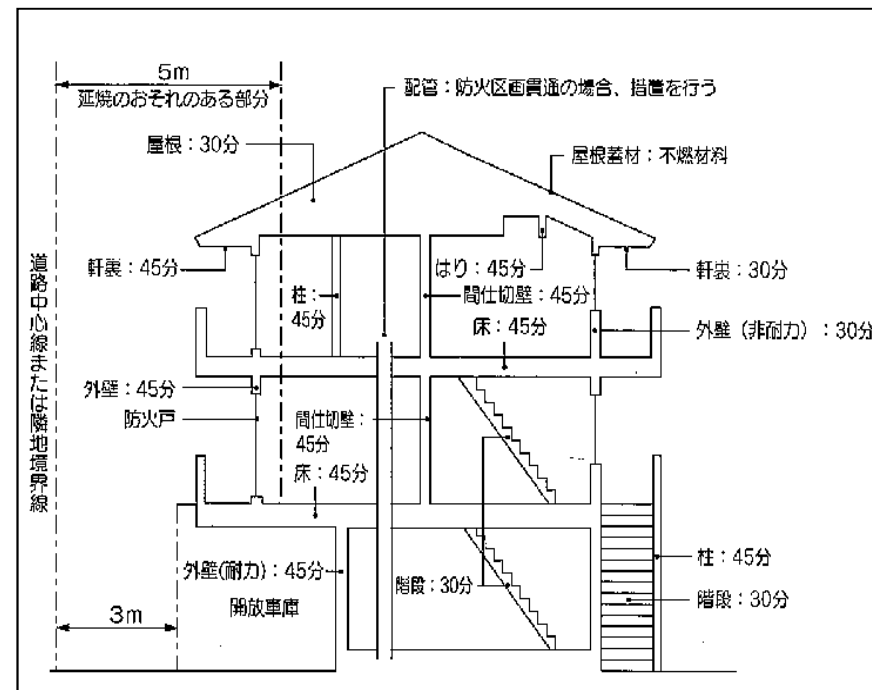
- 火災による**延焼を抑制**するために必要とされる性能を持ちます。

(建築基準法第2条第7号)

耐火建築物：「**倒壊及び延焼を防止**」

準耐火建築物：「**延焼を抑制**」

どちらも火は広がりにくい構造ですが、建物に対するダメージが異なります。



2-1 防災まちづくりの取り組み

(2) 建替えルール（防災街区整備地区計画）

② 「建築物等の制限」について

① 建築物の構造に関する防火上必要な制限

- 昭和56年6月に建築基準法が大きく改正されました。それ以前に建てられた建築物は地震の揺れに対して強度が不足している可能性が高く、**阪神・淡路大震災では昭和56年5月以前に建てられた建物が大きな被害を受けました。**
- 耐用年数の2/3が経過した建築物は、通常の効用持続年数が過ぎているため、危険が生じる恐れがあります。

■ 地震時の建物被害例



写真18 老朽化した家屋の倒壊



写真23 鉄骨造と見られる建築物の被害



写真45 モルタル外壁の剥落
(仙台市青葉区小松島)



写真46 写真45の詳細
(仙台市青葉区小松島)

平成23年東北地方太平洋沖地震による建築物被害第一次調査より
(国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所)

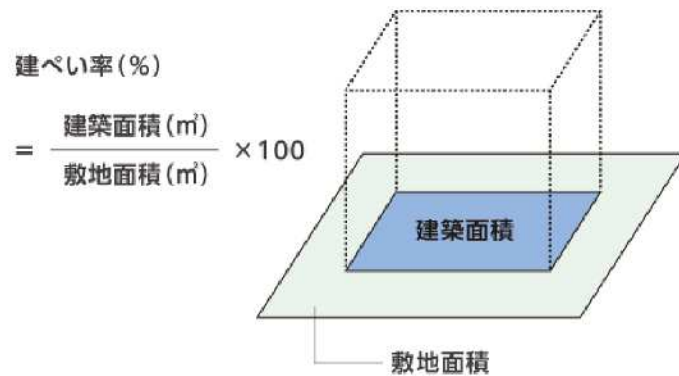
2-1 防災まちづくりの取り組み

(2) 建替えルール (防災街区整備地区計画)

② 「建築物等の制限」 について

① 建築物の構造に関する防火上必要な制限

- 建築基準法の改正により、**準防火地域の耐火、準耐火建築物の建ぺい率が10%緩和**されました。
- 準防火地域の建ぺい率が緩和されたことで、延焼防止性能が高い建物への建替え促進ができます。



建ぺい率：敷地面積に対する建築面積の割合のことで、「敷地の何%を建物用に使えるか」を定めたもの

(容積率：敷地面積に対する延床面積の割合)

■ 改正による建ぺい率10%緩和の内容

(赤枠内が緩和対象、改正で赤字部分が追加)

	耐火建築物	準耐火建築物
防火地域	耐火建築物 耐火建築物と同等以上の延焼防止性能を有する建築物	
準防火地域	耐火建築物、準耐火建築物 およびこれらと同等以上の延焼防止性能を有する建築物	

新たに建ぺい率が
10%緩和

(パナソニックホームズ)

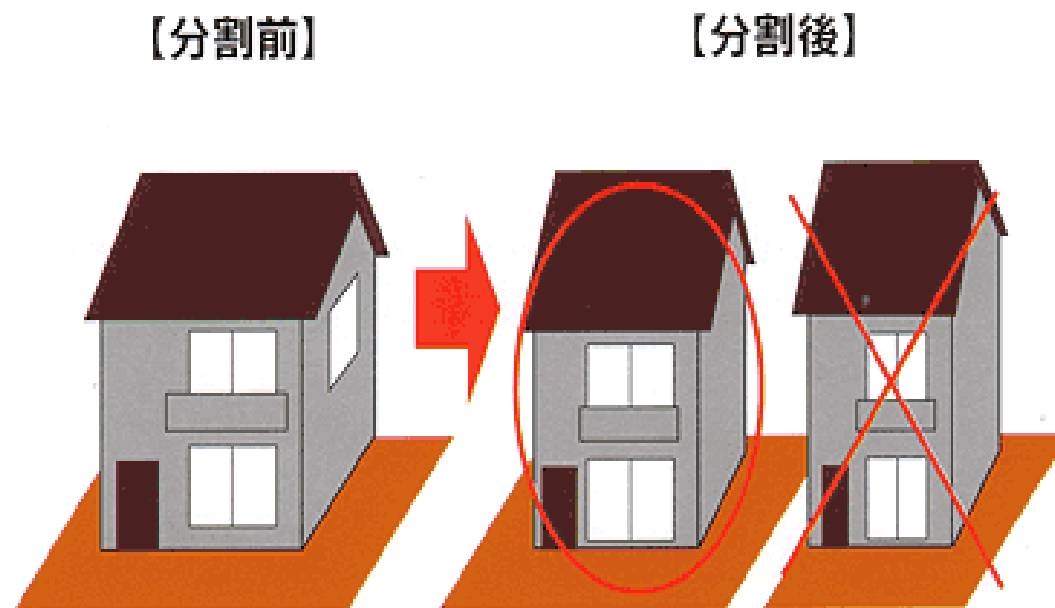
2-1 防災まちづくりの取り組み

(2) 建替えルール（防災街区整備地区計画）

② 「建築物等の制限」について

⑤敷地面積の最低限度

- 土地の細分化を防止し、良好な市街地環境の維持・形成を図るため、「敷地面積の最低限度」を定めます。→（例：66㎡以上）



2-1 防災まちづくりの取り組み

(2) 建替えルール（防災街区整備地区計画）

② 「建築物等の制限」について

⑤敷地面積の最低限度

- ▶ 宅地規模の大きくない住宅の分譲が増えています。
- ▶ 家と家の隙間が狭まり、通風や日照が低下する恐れがあります。
- ▶ 隣家との距離が短くなることで火災延焼のリスクも増加します。
- ▶ 庭などの緑化スペースが少なくなり、うるおいが低下します。

イメージ写真



Ⅲ. 議題

2-2 意見交換① (防災まちづくりの取り組みについて)

2-2 意見交換①（防災まちづくりの取り組みについて）

■意見交換の目標

①防災まちづくりの取り組みについての意見交換

- 西新小岩五丁目地区で建替えルールについて、意見交換をしましょう！



②本日の意見交換の内容をみなさんと共有しましょう！

2-2 意見交換①（防災まちづくりの取り組みについて）

■意見交換の際のルール

- ①ほかの人は発言は否定しないようにしましょう。
- ②他の人の意見は最後まで聞きましょう。

○検討テーマ

本地区の現状の危険度について 「建替えルール」の適用について

- ・皆様のご自宅周辺やご存じの場所の状況について
- ・本地区の現状の危険箇所について
- ・建替えルールの必要性について

2-2 意見交換①（防災まちづくりの取り組みについて）

全体発表

Ⅲ. 議題

3-1 まちづくり構想（案）

3-1 まちづくり構想（案）

（仮称）西新小岩五丁目地区防災まちづくり構想（案）

1 / 2

まちの将来像 → 災害に強く 安心・快適に 住み続けられるまち

まちづくりの目標

目標実現に向けたまちづくりの取組み

災害に強いまちと
骨格のみちをつくる

○防災性の高いまちづくり

- 建物の不燃化や建替え、共同化を進めて災害に強いまちなみを形成します。
- 狭隘な道路や行き止まり道路などを解消してまちの防災性を向上します。
- 防災拠点の整備と拠点間を結ぶ道路ネットワークを整備します。

○緊急車両が円滑に通行できる骨格のみちづくり

- 消防活動困難区域を解消するなど、地区の骨格となる道路幅員6m以上の防災生活道路を整備します。
- 「堤防道路」の相互通行化を検討します。

○安心・快適に歩けるみちづくり

- 安全で快適な歩行者ネットワークを形成して回遊性を高めます。
- 震災時の倒壊や死角等による防犯上の懸念を解消するため、高い塀からフェンスや生垣へ改修するなど、建替え時のルールを定めます。
- 堤防道路など安全にウォーキングやジョギングができる健康みちづくりを行います。

安心・快適に暮らせる
まちをつくる

○まちなみや環境の保全

- 地区にふさわしい良好な街並みへ誘導するルールを定めます。

コミュニティとふれあいを
育むまちをつくる

○コミュニティ活動の活性化

- コミュニティ活動を活性化・充実させる場づくりを行います。
- 積極的にお祭りやイベント等を行い、ふれあいの機会を増やします。

○緑の拡充によるうるおいのあるまちづくり

- 公共空間や住宅の緑を増やして、うるおいのあるまちづくりを行います。

西新小岩五丁目地区防災街づくり検討会（西新小岩五丁目町会及び公募委員・事務局：葛飾区）

3-1 まちづくり構想(案)

(仮称) 西新小岩五丁目地区防災まちづくり構想(案)

2/2

■主な取り組み



西新小岩五丁目地区防災街づくり検討会 (西新小岩五丁目町会及び公募委員・事務局：葛飾区)

Ⅲ. 議題

3-2 意見交換② (まちづくり構想について)

3-2 意見交換②（まちづくり構想について）

■意見交換の目標

①「まちづくり構想（案）」についての意見交換

- まちづくりニュースで住民の皆さんに周知する「まちづくり構想」の内容について、意見交換をしましょう！



②本日の意見交換の内容をみなさんと共有しましょう！

3-2 意見交換②（まちづくり構想について）

■意見交換の際のルール

- ①ほかの人は発言は否定しないようにしましょう。
- ②他の人の意見は最後まで聞きましょう。

○検討テーマ

「まちの将来像について」

「まちづくりの目標について」

「目標実現に向けたまちづくりの
取り組みについて」

「防災生活道路の整備の考え方
について」

3-2 意見交換② (まちづくり構想について)

○検討テーマ

「まちの将来像について」

「まちづくりの目標について」

「目標実現に向けたまちづくりの取り組みについて」

- 追加したい内容
- 削除したい内容

(仮称) 西新小岩五丁目地区防災まちづくり構想 (案) 1/2

まちの将来像 → 災害に強く 安心・快適に 住み続けられるまち

まちづくりの目標	目標実現に向けたまちづくりの取り組み
災害に強いまちと骨格のみちをつくる	<ul style="list-style-type: none">○<u>防災性の高いまちづくり</u><ul style="list-style-type: none">➢ 建物の不燃化や建替え、共同化を進めて災害に強いまちなみを形成します。➢ 狭隘な道路や行き止まり道路などを解消してまちの防災性を向上します。➢ 防災拠点の整備と拠点間を結ぶ道路ネットワークを整備します。○<u>緊急車両が円滑に通行できる骨格のみちづくり</u><ul style="list-style-type: none">➢ 消防活動困難区域を解消するなど、地区の骨格となる道路幅員6m以上の防災生活道路を整備します。➢ 「堤防道路」の相互通行化を検討します。
安心・快適に暮らせるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none">○<u>安心・快適に歩けるみちづくり</u><ul style="list-style-type: none">➢ 安全で快適な歩行者ネットワークを形成して回遊性を高めます。➢ 震災時の倒壊や死角等による防犯上の懸念を解消するため、高い塀からフェンスや生垣へ改修するなど、建替え時のルールを定めます。➢ 堤防道路など安全にウォーキングやジョギングができる健康みちづくりを行います。○<u>まちなみや環境の保全</u><ul style="list-style-type: none">➢ 地区にふさわしい良好な街並みへ誘導するルールを定めます。
コミュニティとふれあいを育むまちをつくる	<ul style="list-style-type: none">○<u>コミュニティ活動の活性化</u><ul style="list-style-type: none">➢ コミュニティ活動を活性化・充実させる場づくりを行います。➢ 積極的にお祭りやイベント等を行い、ふれあいの機会を増やします。○<u>緑の拡充によるうるおいのあるまちづくり</u><ul style="list-style-type: none">➢ 公共空間や住宅の緑を増やして、うるおいのあるまちづくりを行います。

西新小岩五丁目地区防災街づくり検討会 (西新小岩五丁目町会及び公募委員・事務局：葛飾区)

3-2 意見交換② (まちづくり構想について)

○検討テーマ

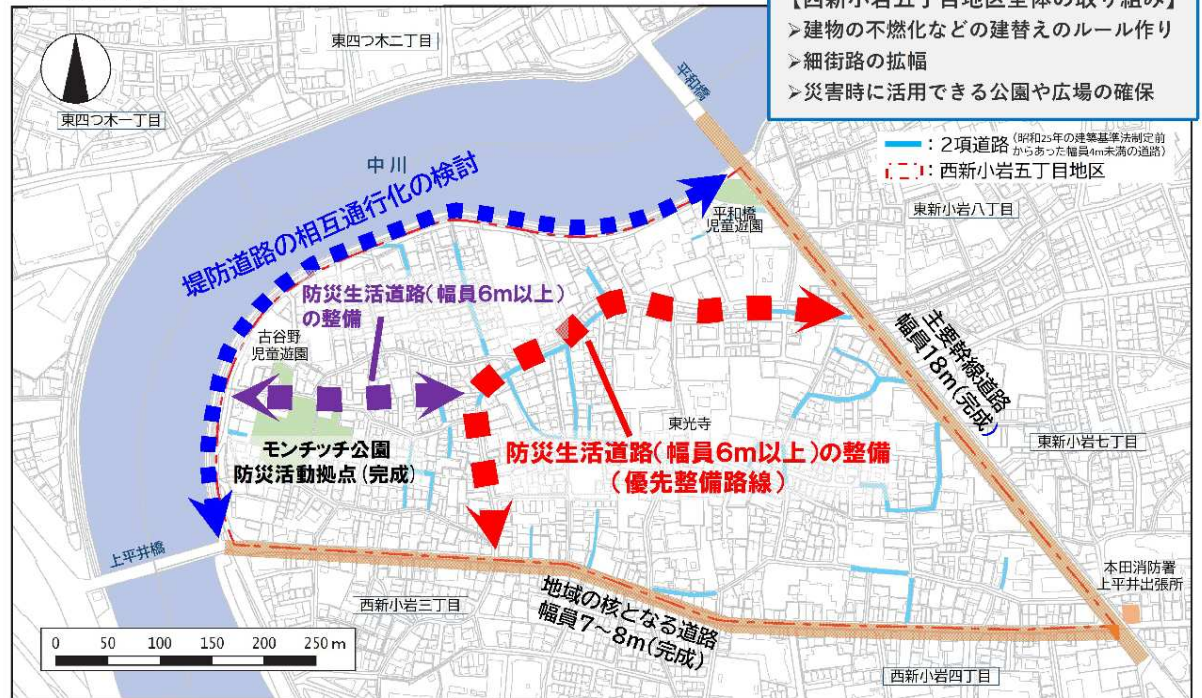
「防災生活道路の整備の考え方について」

- 西側ルート必要性

(仮称) 西新小岩五丁目地区防災まちづくり構想 (案)

2 / 2

■主な取り組み



西新小岩五丁目地区防災街づくり検討会 (西新小岩五丁目町会及び公募委員・事務局:葛飾区)

3-2 意見交換②（まちづくり構想について）

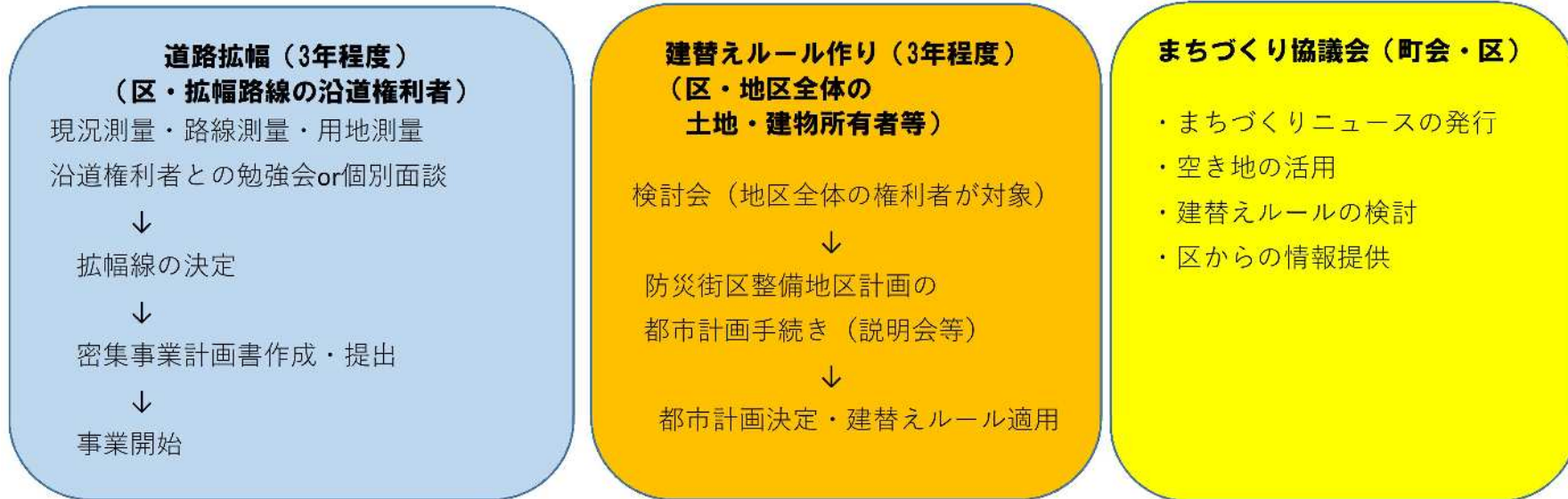
全体発表

IV . 今後の予定

IV . 今後の予定

	令和3年度									
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
防災まちづくり 検討会 (町会・公募区民)	第1回 書面開催 ↔	第2回 (7/17) ●	ニュース 配布 ○		「防災まちづくり構想」 を区に提案 ○					
葛飾区					↓	「防災まちづくり 計画(案)」を作成 ←				→
										防災まちづくり 計画(案)説明会 ○ 説明会開催報告 →地区全戸に配布

令和4年度以降



まちの将来像 → 災害に強く 安心・快適に 住み続けられるまち

まちづくりの目標

災害に強いまちと
骨格のみちをつくる

安心・快適に暮らせる
まちをつくる

コミュニティとふれあいを
育むまちをつくる

目標実現に向けたまちづくりの取組み

○防災性の高いまちづくり

- 建物の不燃化や建替え、共同化を進めて災害に強いまちなみを形成します。
- 狭隘な道路や行き止まり道路などを解消してまちの防災性を向上します。
- 防災拠点の整備と拠点間を結ぶ道路ネットワークを整備します。

○緊急車両が円滑に通行できる骨格のみちづくり

- 消防活動困難区域を解消するなど、地区の骨格となる道路幅員6m以上の防災生活道路を整備します。
- 「堤防道路」の相互通行化を検討します。

○安心・快適に歩けるみちづくり

- 安全で快適な歩行者ネットワークを形成して回遊性を高めます。
- 震災時の倒壊や死角等による防犯上の懸念を解消するため、高い塀からフェンスや生垣へ改修するなど、建替え時のルールを定めます。
- 堤防道路など安全にウォーキングやジョギングができる健康みちづくりを行います。

○まちなみや環境の保全

- 地区にふさわしい良好な街並みへ誘導するルールを定めます。

○コミュニティ活動の活性化

- コミュニティ活動を活性化・充実させる場づくりを行います。
- 積極的にお祭りやイベント等を行い、ふれあいの機会を増やします。

○緑の拡充によるうるおいのあるまちづくり

- 公共空間や住宅の緑を増やして、うるおいのあるまちづくりを行います。

■ 主な取り組み

【西新小岩五丁目地区全体の取り組み】

- 建物の不燃化などの建替えのルール作り
- 細街路の拡幅
- 災害時に活用できる公園や広場の確保



堤防

土手上がる道路
工事が完成未定
となっている

堤防道路の
相互通行の実現を
希望する

堤防道路沿いの
ジョギングロードの
整備・維持が良い

道路拡幅

8m道路であるが
狭所を拡幅して
欲しい

2項道路の
拡幅をしたい

危険箇所

見通しが悪くて
危険

車の出入りの際、
自転車及び歩行者
の危険を感じる

平和橋通りに入る
所は見通しが悪く
危険

道が狭く、
両側にブロック塀
が有り危険

安全

交番があって
安心

自転車及び歩行者
専用道路が
安全のため必要

通学路

小学校まで遠いのに
通学路に歩道が
ない所が多い

上平井小学校の
通学路のため、
押しボタン式の信号
にしてほしい

交通規制

道幅が狭いので
対面通行をやめ
一方通行としたい

広い道で一方通行
となっているが、
対面通行としたい

環境

買い物をする店
がない
(コンビニだけ)

花・木の整備を
継続してほしい

夜は静か

防災備品・
災害備品のための
管理棟が必要

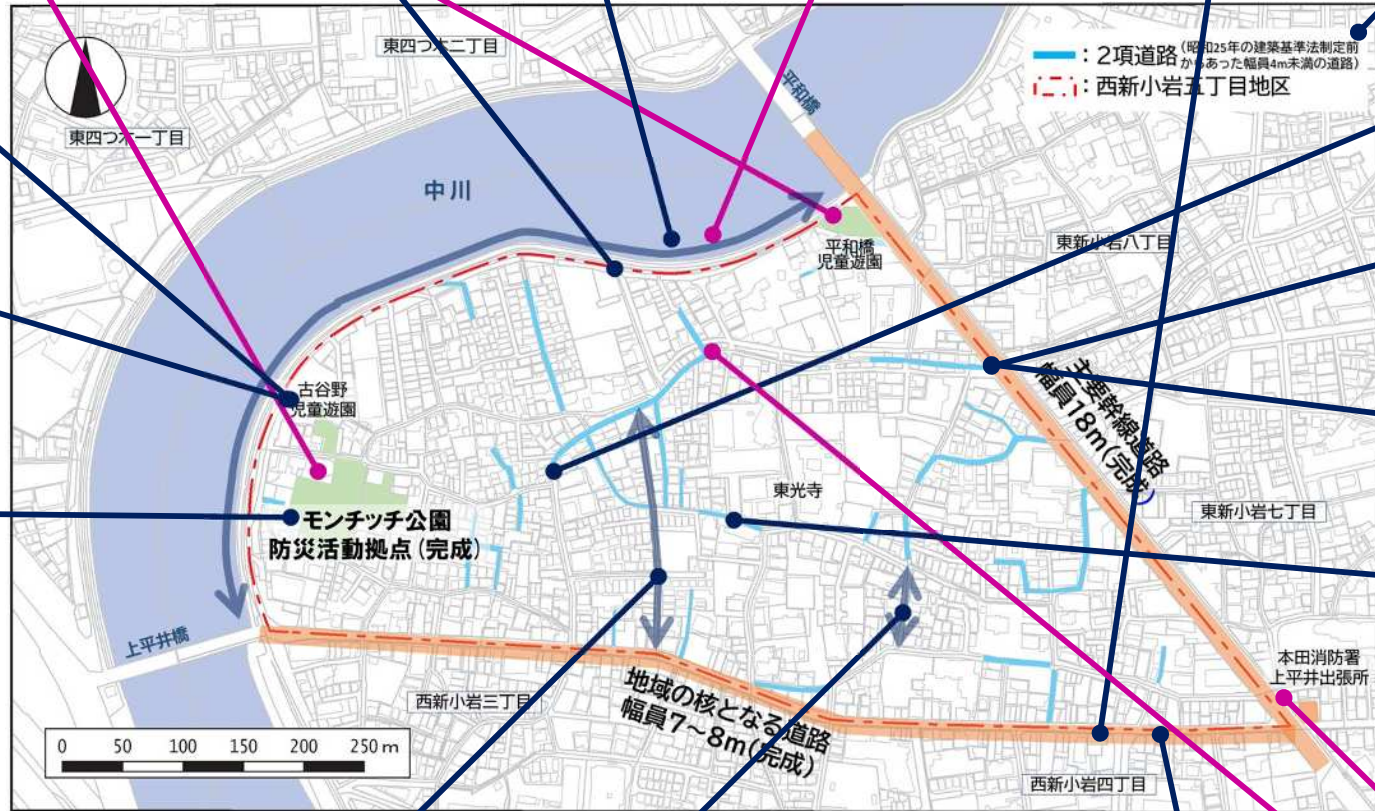
モンチッチ公園の
案内板がほしい。
モンチッチのイラスト
を多用してほしい

モンチッチ公園が
今後拡張されるので
不要

散歩や運動で
よく利用する

モンチッチ公園は
広く、綺麗

施設



0 50 100 150 200 250m

地域の核となる道路
幅員7~8m(完成)

主要幹線道路
幅員18m(完成)

3-2 意見交換② (まちづくり構想(案)について)

「まちの将来像について」

「まちづくりの目標について」

「まちづくりの取り組みについて」

(仮称) 西新小岩五丁目地区防災まちづくり構想(案) 1/2

まちの将来像 → 災害に強く 安心・快適に 住み続けられるまち

まちづくりの目標

目標実現に向けたまちづくりの取り組み

災害に強いまちと
骨格のみちをつくる

○防災性の高いまちづくり

- 建物の不燃化や建替え、共同化を進めて災害に強いまちなみを形成します。
- 狭隘な道路や行き止まり道路などを解消してまちの防災性を向上します。
- 防災拠点の整備と拠点間を結ぶ道路ネットワークを整備します。

○緊急車両が円滑に通行できる骨格のみちづくり

- 消防活動困難区域を解消するなど、地区の骨格となる道路幅員6m以上の防災生活道路を整備します。
- 「堤防道路」の相互通行化を検討します。

安心・快適に暮らせる
まちをつくる

○安心・快適に歩けるみちづくり

- 安全で快適な歩行者ネットワークを形成して回遊性を高めます。
- 震災時の倒壊や死角等による防犯上の懸念を解消するため、高い塀からフェンスや生垣へ改修するなど、建替え時のルールを定めます。
- 堤防道路など安全にウォーキングやジョギングができる健康みちづくりを行います。

○まちなみや環境の保全

- 地区にふさわしい良好な街並みへ誘導するルールを定めます。

コミュニティとふれあいを
育むまちをつくる

○コミュニティ活動の活性化

- コミュニティ活動を活性化・充実させる場づくりを行います。
- 積極的にお祭りやイベント等を行い、ふれあいの機会を増やします。

○緑の拡充によるうるおいのあるまちづくり

- 公共空間や住宅の緑を増やして、うるおいのあるまちづくりを行います。

西新小岩五丁目地区防災街づくり検討会(西新小岩五丁目町会及び公募委員・事務局:葛飾区)

3-2 意見交換② (まちづくり構想(案)について)

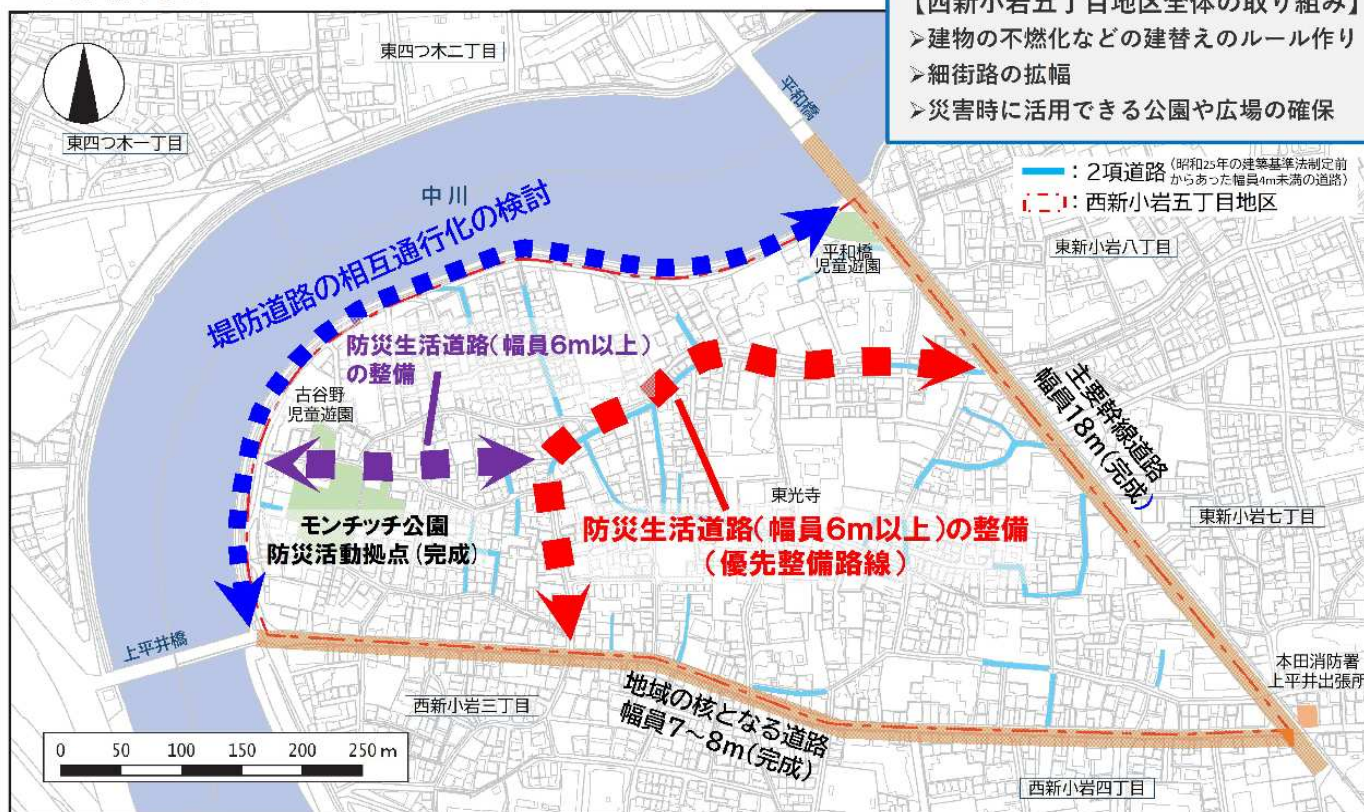
「防災生活道路の整備の考え方について」

「西側ルート必要性」

(仮称) 西新小岩五丁目地区防災まちづくり構想(案)

2 / 2

■主な取り組み



西新小岩五丁目地区防災街づくり検討会 (西新小岩五丁目町会及び公募委員・事務局:葛飾区)